地域福祉活動推進　部門　　（担当者）　三原、小野、竹田、武岡、井河、田村

全部門の共通目標達成シート　　※丸囲み数字は優先順位　　※　　現在実施していること、H30年度から実施すること

①サロン活動を通して自分たちの地域について話し合ってもらい、地域の状況を知ってもらう	②訪問活動を通して、家族・近隣などの見守り体制の意識づけを行う	③自主防災組織を巻き込み地域での見守り体制を考えてもらう	①職員が福祉に関する理解などを深めるために研修等に参加する	②災害ボランティアセンターの役割と機能について地域住民に理解してもらう場をつくる	③防災をきっかけとした活動に取り組む上で地域で埋もれているニーズや課題を発見する力を育成する	①常に地域への関心を持つことによって、変化や気づきが生まれ課題の発見につながる	②民生委員と顔の見える関係築くために地域に出向く	③民生委員から地域の中で気になる世帯や生活課題がないか情報を得る
	①住民主体・参加の徹底	④多世代交流できるような場所づくり		**②地域づくりに向けた人材確保・育成・福祉教育**	**④地区会長に対し福祉推進委員の意識づけをする**		**③アウトリーチの徹底**	④訪問やサロン、ボランティア活動を通して個別の生活課題、相談、実態を聞き取る
	⑥環境美化活動を通して地域状況を再確認してもらえるきっかけとする	⑤多世代交流できるようなボランティアグループを派遣する		⑥地域福祉活動計画を進めて行く中で小地域を焦点に置き主体的に動ける人材を育成する	⑤ボランティアグループ同士の交流の場を作ることで、新たな発見や気づきが生まれ、活動に活かす			⑤地区会長との活動報告書を通して、地域の状況やニーズの把握をする（活動報告書の様式の変更等）
①現在、実施している事業・今後実施を検討する事業を知ってもらう機会を持つ	②行政の事業内容や体制について知る	③課題解決に向けた協議の場づくり	**①住民主体・参加の徹底**	**②地域づくりに向けた人材確保・育成・福祉教育**	**③アウトリーチの徹底**	①地域住民が相談しやすいような関係を作る	②研修等を通して相談援助技術について理解をし、スキルアップを図る	③相談を受けた時に相談者の意思を尊重し、自分の価値観を押し付けないようにする
⑧住民が集える場所がないかまちづくり戦略課と協議する	**⑧担当部門を超えた行政との連携**	④行政からの情報が入ってくる仕組みを検討し、地域の中で潜在している問題の発見につなげる	**⑧担当部門を超えた行政との連携**	地域住民の個々のニーズに応え生活を支えること、さらに地域の福祉課題の解決を図ること	**④相談支援と権利擁護**		**④相談支援と権利擁護**	④守秘義務の徹底
⑦警察と緊急時に迅速な対応ができるよう、常につながりを持って見守り強化につなげる	⑥安心カプセルを通して消防と顔の見える関係づくりをし、平時や他の事業に活かす	⑤つるぎ町社協職員防災危機管理ハンドブック（マニュアル）を見直す時に、行政を交え協議する	**⑦関係機関を含めた住民参加の連携・協働づくり**	**⑥新たな地域ニーズに対応する在宅福祉サービスの展開**	**⑤ニーズに立脚した利用者本位の福祉サービスの実現**			⑤使える社会資源を再確認することにより、柔軟な相談体制に活かす
①現在、実施している事業を知ってもらう機会を持つ（サロン、老人クラブ、地区会長など）	②住民からの要望に応じたボランティアの派遣を行う		①在宅福祉サービスを理解する			①各部門との連携をし、対象者に沿った福祉課題の解決を図る	②町内の薬局との連携を図り、個人の健康維持を進める	③ニーズにあわせて事業を見直す
	⑦関係機関を含めた住民参加の連携・協働づくり			**⑥新たな地域ニーズに対応する在宅福祉サービスの展開**			**⑤ニーズに立脚した利用者本位の福祉サービスの実現**	

福祉サービス利用支援　部門　　（担当者）岡部、中山、田岡

全部門の共通目標達成シート　　※丸囲み数字は優先順位　　※　　現在実施していること、H30年度から実施すること

			①福祉に興味関心を持ってもらえるように住民に働きかける	②権利擁護等について知る機会を提供する	③福祉に興味関心を持っている人の把握	①生活課題を抱える人の情報をもらえる関係作り	②対象者の事を深く知る	③生活状況を確認する事で生活課題を早期発見する
	①住民主体・参加の徹底			②地域づくりに向けた人材確保・育成・福祉教育	④学んだ事を活かせる実践の機会を提供する		③アウトリーチの徹底	④見つけられていない対象者を発見する
①連携先と共通の目的を探る			①住民主体・参加の徹底	②地域づくりに向けた人材確保・育成・福祉教育	③アウトリーチの徹底	①利用可能な制度やサービスなどの把握	②相談支援における技術と知識を身につける	③日時，曜日，場所などに配慮し相談しやすい体制を作る
	⑧担当部門を超えた行政との連携		⑧担当部門を超えた行政との連携	地域住民の個々のニーズに応え生活を支えること、さらに地域の福祉課題の解決を図ること	④相談支援と権利擁護	⑧本人の意思を関係者等に代弁する	④相談支援と権利擁護	④相談内容を社協内で共有し対応を協議する
			⑦関係機関を含めた住民参加の連携・協働づくり	⑥新たな地域ニーズに対応する在宅福祉サービスの展開	⑤ニーズに立脚した利用者本位の福祉サービスの実現	⑦本人の意思を尊重する	⑥個人情報を保護する	⑤相談内容と対応について記録を残す
①住民や関係機関に社協を知ってもらう	②住民へ関係機関の情報提供	③関係機関と住民が繋がる機会を作る	①提供する情報を検討する	②他部門に情報提供する		①利用者の希望を正確に把握する	②関係機関と協議の場を持ち支援体制を構築する	③支援経過を共有し利用者の希望に沿っているかを評価する
	⑦関係機関を含めた住民参加の連携・協働づくり			⑥新たな地域ニーズに対応する在宅福祉サービスの展開			⑤ニーズに立脚した利用者本位の福祉サービスの実現	④評価に基づいてサービスの内容を変えていく

在宅福祉サービス　部門

（担当者） Ca:高来、岡、大泉、春田
HH:前田、柳生、南、日野浦、吉永、真鍋、中屋、篠原

全部門の共通目標達成シート　※丸囲み数字は優先順位　※　現在実施していること、H30年度から実施すること

①交流の場に関する情報を提供し、参加を提案する	②町が企画する健康教室等の情報を把握する	③インフォーマル（非制度）のサービスや活動の把握	①人が集まる機会を活用して専門職としての知識・技術を地域に還元する			①ｻｰﾋﾞｽ提供を通じて知り得たﾆｰｽﾞを地域福祉に生かすため他部門と連携する		
	①住民主体・参加の徹底	④利用者の近隣住民や関係者と積極的に関わり人間関係をつくる		②地域づくりに向けた人材確保・育成・福祉教育			③アウトリーチの徹底	
①インフォーマルとの連携を図るため、地域福祉部門との連携を強化する	②部門横断的な事例検討会や定例の情報交換の場を設ける	③情報共有の記録様式や情報の流れの工夫をする	①住民主体・参加の徹底	②地域づくりに向けた人材確保・育成・福祉教育	③アウトリーチの徹底	①意思表出を支援し真のニーズを受け止め代弁する	②自己決定を最大限に尊重してその人らしく地域で自立した生活ができるよう支援する	③あらゆる人に対しサービスを受ける権利を保障する
⑧集合住宅（冬場）の確保の行政への働きかけ	⑧担当部門を超えた行政との連携	④保健・医療との連携、顔の見える関係づくり	⑧担当部門を超えた行政との連携	地域住民の個々のニーズに応え生活を支えること、さらに地域の福祉課題の解決を図ること	④相談支援と権利擁護		④相談支援と権利擁護	④相談を受けた時たらい回ししないように要援護者や障がい者の総合的支援体制づくり
⑦過疎化への対応の必要性について協議する機会を設ける	⑥行政と普段から良好な関係をつくり緊急時に役立てる	⑤担当者が交代しても連携・協働できる体制を整える	⑦関係機関を含めた住民参加の連携・協働づくり	⑥新たな地域ニーズに対応する在宅福祉サービスの展開	⑤ニーズに立脚した利用者本位の福祉サービスの実現			⑤他事業と連携して困難事例の検討を行い多問題世帯へ積極的に関わる
①地域活動と連携した住民との協働によるケアに取り組む	②重度化、困難事例の対応を強化するため関係機関のﾈｯﾄﾜｰｸ化を図る	③住民と専門職が共に自分の町を考え行動する為の事例検討会の実施	①社協内での事業内容を実績を含め現状把握する	②先駆的な事業の視察・研究	③ﾆｰｽﾞ・生活課題と現状の把握（ｻｰﾋﾞｽ利用者、地域住民、関係機関）	①利用者本位の受け入れをする	②採算に関係なく過疎地におけるサービス供給のセーフティネットとして受け入れ態勢の強化	③利用者の潜在的ニーズの把握と記録化
	⑦関係機関を含めた住民参加の連携・協働づくり	④地域のサービス水準の確保・向上の為、町内介護事業者と情報交換の機会を作る		⑥新たな地域ニーズに対応する在宅福祉サービスの展開	④中山間地域へのサービスの向上	⑧登録ヘルパーの増員を含めた対応力の強化を図る	⑤ニーズに立脚した利用者本位の福祉サービスの実現	④家族に目を向けた支援をする
				⑥地域から孤立した家族・生活環境への働きかけ方の検討	⑤買い物、移動手段、居所等に関する新たなサービスの企画・実施	⑦休日・夜間・早朝等サービス提供時間を拡大する	⑥ｱﾝｹｰﾄ・自己分析ｼｰﾄ・ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞの実施によりｱｾｽﾒﾝﾄ徹底を図る	⑤定期的なﾐｰﾃｨﾝｸﾞ、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽを開催し情報管理・共有、連携強化をする